

墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査結果等から見られる現状と課題〔小学生保護者アンケート〕資料2

1 母親の就労状況(問6、7、9、10)

- フルタイム(産育休等を除く)は32.1%、パートタイム(産育休等を除く)は37.1%、働き方は前回調査と比べて大きな変化は見られない
- 就労日数は5日が最も多く前回調査と比べて増加(56.0% 61.3%)、平均就労時間も8時間以上が最も多い
- 母親の育児休業取得実績は、前回に比べ変化はあまり見られない(25.2% 25.4%)
- 父親の育児休業取得実績は1%程度
- 母親の育児休業取得後に、職場に復帰した割合が減少(88.9% 83.8%)

2 現在の学童クラブの利用状況(問13)

- 「現在、利用している」割合は22.5%、「今は利用していないが、過去に利用したことがある」割合は23.0%とほぼ同等
- 利用していた学年は、3年生までは51.2%、4年生を超えると1%に満たないごくわずかとなっている

3 学童クラブの利用希望(問14)

- 平日の「利用希望は低学年(1~3年生)の間は利用したい」割合は27.6%となっており、「利用希望はない」割合は36.8%
- 平日の希望利用終了時間は「18時台」は42.9%、「19時台」も18.6%となっている
- 日曜日の利用希望は10%に満たない
- 夏休み、冬休みなどの長期休暇においては、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が29.6%と高い

5 放課後の過ごし方(問12)

- 「塾や習い事に行く」が59.0%と最も高く、前回調査と比べて増加(53.0% 59.0%)、次いで「友だちと公園や広場など外で遊ぶ」が43.9%と高い

6 児童館で利用してほしい事業(問15)

- 児童館のサービスの充実に向け、「ドッジボール・ソフトサッカー・バスケ・一輪車等のスポーツ」が60.1%、「季節のイベント(縁日・お正月遊び・豆まき・七夕・クリスマス等)」が52.4%、「工作・手芸などの製作」が49.1%と様々

9 どのような人になってほしいか(問17)

- 「思いやりや優しさのある人」が最も高く、82.2%と突出している(前回調査と比べても大きな変化が見られない)

10 学校教育の場で身につけてほしいこと(問25)

- 「教科の基礎学力」が最も高く73.8%、次いで「周りの人との関係をうまくつくる力」が70.2%と高く、前回調査と比べて大きな変化が見られない

4 小学校に入学した時に心配なこと(問16)

- とても心配なのが「子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯」が37.9%、「通学の安全」が35.9%と高い
- 一方で、全然心配ではないのが「すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人が見つかるか」が43.5%、「学童クラブに入所できるか」が39.2%と高い

7 子育てについて感じていること(問23)

- 「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」が55.0%と最も高く、前回調査と比べても高い(34.1% 55.0%)
- 「楽しいと感じることの方が多い」が前回調査と比べて低い(59.2% 31.3%)

8 子育てに対する自信(問24)

- 子育てに自信が持てないと「いつも感じる」と「ときどき感じる」を合わせた「感じる」割合は6割を超えている

11 子どもの学校での状況(本人回答)(問33、34、38)

- 学校の授業がよくわかるかについては、「よくわかる」が38.4%と高く、前回調査と比べ増加(33.6% 38.4%)
- 学校は楽しいかについては、「とても楽しい」が48.0%と最も高い一方で、前回調査と比べ減少(53.4% 48.0%)
- 学校に行きたくないと思うこととして、「友だちとうまくいかないとき」が39.4%と最も高く、前回調査と比べ増加(26.4% 39.4%)

12 携帯電話・インターネット等(問18、20)

- 「携帯電話」を持っている回答は41.7%と高い一方で、「スマートフォン」(6.6%)や「タブレット」(13.9%)、「パソコン」(2.7%)については持っている回答は低い
- 「携帯電話」については小学校低学年からの利用開始が76.6%と高い
- 使う機能については、「通話」(76.8%)や「メール」(55.8%)と高いものの、前回調査と比べると、「ゲーム」(9.4% 25.3%)や「インターネット」(6.6% 20.3%)が高くなっている

13 墨田区の子育て環境への期待(問27、29)

- 区で行っている事業の中では、「すみだ子育て支援ネット「はぐ Hug」」は満足度が高く、一方で、「教育相談室、親子電話相談」は、満足度に課題がある
- 墨田区で目指す環境として重要だと思うことは「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」が最も高く41.6%

14 墨田区子ども・子育て支援事業計画の見直しに向けて

子どもの最善の利益を優先します

- (1)子どもの豊かな育ちを育む場・機会の充実
- (2)子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境の整備
- (3)子どもの心とからだの健康づくりの促進

課題

- 子どもの居場所や遊び場に対するニーズが高く、特に低学年における学童クラブのニーズが高い
- 児童館等の地域施設、学校、地域団体等における連携・協働が求められている(インタビューより)

保育の量的整備のみならず、保育の質を重視します

- (1)親と子の健康づくりの促進
- (2)子育て支援サービスの充実
- (3)認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスの拡充と質の向上

未就学保護者アンケートにて

困難を抱えた子どもと家庭への支援体制を手厚くします

- (1)ひとり親家庭等への支援
- (2)障害のある子どもの発達と成長支援
- (3)保護が必要な子どもとその家庭への支援
- (4)子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援

課題

- ひとり親家庭の増加による対応が必要
- 特別支援学級の枠組みの不足に対する対策が急務(インタビューより)

地域の子育て力及び連携を強化します

- (1)親同士のつながりと子育て力の育成
- (2)地域の子育て力の育成と協働
- (3)企業等の子育て力との協働
- (4)個々のニーズに即した子育て支援ネットワークの構築
- (5)子どもの安全・安心を守るための環境の整備

課題

- 子育てに自信が持てないと感じる方に対する対策が急務
- 「すみだ子育て支援ネット「はぐ Hug」」をはじめとした様々な機関・団体等のネットワークの一層の連携が必要
- 子どものための交通安全対策と子どもを犯罪から守るための対策が急務

ワーク・ライフ・バランスを踏まえた支援を実施します

- (1)ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりの推進
- (2)子育てにやさしいまちづくりの推進
- (3)子育て家庭の視点に立った情報の発信

課題

- サービス等の子育て情報をより区民がより受け取ることができる手法の検討が必要(インタビューより)